

一関楽走会

2020年
4月号
No561
発行責任者
佐藤東
Tel123-0101
09068525852

会員募集中

定期総会のランと懇親会9名参加

3月7日、蘭梅荘で楽走会の定期総会が開かれました。それに先立ちマラソンが行われました。

午前10時、東大橋までの折り返しということで、大越さん、菅原孝一さん、菅原楯夫さんが走りました。リュックを背負って自宅からランニングで小野寺良信さん、佐藤文政さんが11時から総会に出席しました。

総会には会員53名中、本人出席11名、委任状出席19名、計30名の出席で始まりました。昨年度の事業報告・決算の承認、および新年度の事業計画と予算が承認されました。活発な意見が出され今後の運営に活かしていきたいと思えます。



蘭梅荘での最後の懇親会



楽しい思い出を語り・・・

昨年「走る仲間の会」や「手県交流会」や各地のマラソン大会がコロナ禍で中止になり残念な思いをした会員も多かったことと思えます。今年も楽走会創立50周年記念事業を企画して居りますが、コロナ禍の状況を見守りながら進めたいと思えます。永年お世話になった蘭梅荘は3月で閉館になり総会や行事も最後というところで懇親会も思い出を語りながら楽しく過ごしました。4月からは古戦場を会場に開催する事になりました。今後の会運営に走ることで健康に関するアイデアを皆様のご意見、アイデアを頂ながら進めてまいります。(事務局)

3月例走会 3月7日

川向君のお母さん撮影



今年初めてのトリムコース

昨年の12月の大雪では大変驚きました。3月には早春の朝、久しぶりの河川敷での例走会、何となく皆の顔が清々しく見えて嬉しくなりました。今月も浅沼事務局長が体調が回復せず、例走会をよろしくとのことでした。早い回復を祈ります。今朝は川向君、齋藤君ほか8名の参加で朝礼、総会の件と蘭梅荘のお別れの懇親会、ランのお話をしました。その後、ラジオ体操、ランニングコースで爽やかな汗を流しました。(事務局)



3月例走会参加者

- 成田頼大 千葉丈夫 千葉健一
- 小野寺卓司 菅原東 佐藤東
- 佐藤隆義 長澤茂 川向愛斗
- 齋藤祐二 (家族1人)

コロナ考



新型コロナウイルスの対応開始から、1年数か月が経過しているにもかかわらず、一向にその収束の兆しは見えない。社会は、一様に私達に押しつけられる「三密」という行動規制を体よく強いている。そもそも仏教用語の「三密」とは、身密(身体)、口密(言葉)、意密(心)の三つの密を追求するために修行するという真言密教の教義であるとのこと。つまり「密閉、密接、密集」は、どこかでつくられたものであり、仏教用語の「三密」とは全く関係のない使い方をしているわけです。皆様御承知のとおり、この1年以上にわたってほとんどのマラソン大会は中止されており、各ランナーは行き場のないストレスを抱えていることは容易に想像ができます。ところで、マラソン大会の中止は、その根拠となる「三密」に該当するのだろうか。(個人的見解であるが)答えは「否」である。瞬間的にスタート直前は密集になることはあっても、走り出せばどんどんランナーの距離は離れるわけです。「三密」が継続されることはほとんど無いのではないだろうか。

例走会・春季フルマラソン

- 4月 4日 (日)
- ※ 例走会 午前6時00分 河川敷「トリムコース」
- ※ フルマラソン 午前7時 古戦場各自ペースでスタート
- ※ コース 古戦場～東大橋～遊水地堤防～平泉「衣川橋」折返し～遊水地堤防～古戦場
- ※ 懇親会 正午より 古戦場 会費 2000円

会報原稿募集

昭和49年11月に創刊されて一関楽走会会報は3月号で560号を迎えました。今回は561号になります。継続するためにも皆さんの寄稿をお待ちしております。日頃のトレーニングや楽しいことなど雑感でも何でも良いのでよろしくお願いいたします。
原稿〆切 毎月15日

今年の「市民マラソン大会」未定!

※ 一関市体育協会に問い合わせたところ、今年の大会は開催する予定にはなっていますが、秋になるか来春になるか未定とのこと。